

# 会 議 録

|                |  |
|----------------|--|
| 会議名            | 佐久市公民館運営審議会  |
| 日時             | 令和4年9月22日(木) 午後4時～午後5時45分  |
| 場所             | 佐久市役所南棟 3階会議室  |
| 出席者            | 審議会委員 17名中2名欠席<br>(金森輝雄委員・土屋信幸委員)<br>市(事務局):吉岡教育長、柳澤中央公民館長、工藤課長、三石浅間公民館長、土屋野沢公民館長、浅川中込公民館長、浅川東公民館長、小山臼田公民館長、小林浅科公民館長、井出望月公民館長、清水   |
| 【主な内容】<br>会議事項 | (1)佐久市教育振興基本計画(案)について  |
| 事務局            | 公民館における現状と課題及び公民館が目指すものについて、資料2により説明。  |
| 委員             | 資料2-2ページの右下に「PRの工夫」とあるが、小中学校などどのように関わっているのか  |
| 事務局            | 市内の小中学校(中学は臼田中のみ)と公民館体験学習を行ったり、「夏休み子ども公民館」を企画し、地区公民館長が全小学校に持参して配布してもらっている。佐久大学とも連携しており、大学へ出向いて授業をしたり、公民館の仕事を体験してもらうほかボランティア活動についても現在調整中である。  |
| 委員             | 中央公民館、7つの地区公民館の下に235の地域公民館があるが、地元の活動の拠点となっている桜ヶ丘ふれあいセンターについては地元へ移管する方針のようだ。活動拠点として重要な施設であり公民館としても何か働きかけができないか。   |
| 事務局            | 地区の公民館施設などは同じような時期に建てられたものも多く、全てを維持していくことが難しくなっている。7つの地区にはそれぞれ、駒の里ふれあいセンターなどの拠点となる施設があり、デマンド交通などにより利用していただくことをお願いしているところである。そういった背景があることから、個々の施設に関し公民館から何か働きかけるといことは困難であり、ご理解いただきたい。 |
| 事務局            | 佐久市教育振興基本計画骨子案及び社会教育部関係施策一覧表について、資料3により説明。   |
| 委員             | 資料3-2ページ(3)ア、近代美術館の記述中、「対話型鑑賞」とは何か。  |
| 事務局            | これまでの鑑賞は、絵などを静かに見ているだけだったが、対話型鑑賞は、子どもなどを対象に作品の感想や想像をベースに対話を行うものである。  |
| 委員             | 同じ基本目標で生涯学習リーダーバンクの記述があるが、創錬の森市民大学院の修了者の登録状況は。   |
| 事務局            | 大学院の修了者には生涯学習リーダーバンクに登録してもらうよう促している。市民活動サポートセンターの講師による研修も行うなどしているが、実際の所年齢が高い方も多くなかなか登録に結びつかない状況である。  |
| 委員             | 身近な問題を法律を交えて統一的に学ぶような講座があってもいいのでは。   |

|                              |  |
|------------------------------|--|
| 事務局                          | 野沢公民館では終活をテーマにした「老後を自分らしく」という連続講座を行っている。多くの人に興味をもって頂けるような講座のアイデアがあれば、ぜひお寄せいただきたい。  |
| 委員                           | 音楽の練習をしたいといった希望には公民館として対応してもらえるのか。   |
| 事務局                          | 現在改築中の野沢会館には個人練習ができる小部屋から大きめの音楽室があり、新施設にも整備される。他の市民会館なども含め、練習での利用が可能である。   |
| 委員                           | 佐久の先人はせっかく選定したのだからもっとPRしたほうがよい。創錬センターや浅科支所にはタペストリーが飾られているが、ほかの会館などでも飾ってはどうか。   |
| 事務局                          | 公民館でも冊子を販売しており売れ行きはそれなりだが高齢者がほとんどであり、若い人へのPRは必要と考えている。文化振興課と協議していきたい。  |
| 委員                           | スポーツ関係で言及されている学校部活動の地域部活動への移行は、大変重要な課題となっている。それにも関連するが、公民館体験のように、こういったことをお願いしたいとか、こんな人材はいないかといったお願いは、どこに相談すればよいか。  |
| 事務局                          | 校長会などでもお知らせしているが、中央公民館、地区公民館どちらでもよいのでご相談していただきたい。  |
| 事務局                          | 3-3ページ(5)のアに人権教育の推進が挙げられており、現状では社会教育の施策がないが、公民館としても研修を行っていることから記述を加えたい。またその次のイに男女共同参画社会に関しては、この場で思いつくものは無いのですが、該当するものがあれば加える必要があると考えております、3-2ページの(3)ウ情報化社会の変化に応じた教育の推進では、公民館として通信環境の充実について項目を追加していきたい。 |
| <b>(2)令和3年度の公民館事業報告等について</b> |  |
| <b>(3)令和4年度の公民館事業について</b>    |  |
| 事務局                          | 資料4、5により説明   |
| 委員                           | 5-1ページ、野沢会館は改築があるが、野沢のつどいは会館でできるということか。  |
| 事務局                          | まだ最終決定ではないが、展示発表を12月に現会館で、舞台発表を新会館で3月に行う計画をしている。   |
| 委員                           | 各議題についてほかにもご意見があれば、お配りした様式により公民館までお寄せ頂きたい。   |